

一学校だより 2023年 8月31日 第19号
(令和5年) (AUGUST:葉月)

みはらっ子

☆安全な生活をめざそう(うがい、手洗い、水分補給。ろうかは歩きます。)
三原小学校(46-2628) 文責 嵐

三原村に高知県立大学より、5名の学生さんたちが来て来ています。

県立大学生の5名が、三原村の県立大学生派遣事業の一環として、8月28日から9月1日まで5日間の日程で、三原小・中学校の子どもたちの学習支援に来て来ています。

5日間の内容は、それぞれが各学級に入って学習支援を行ったり、休み時間には、子どもたちと楽しく遊んでくれたりしています。それから、校舎内の環境美化や運動会へ向けての準備物の作成、また、午前中は小学校での活動、午後からは中学校へ、そして放課後は、「放課後子ども教室」で、子どもたちの様子を見守って来ています。さらに、天候にもよりますが、村内をレンタル自転車で散策する予定も入っています。

学生さんたちにとっては、慌ただしい毎日でしょうが、子どもたちは大喜びで、楽しい交流の機会となっています。大学生のみなさん、ようこそ三原村へお越しいただき、ありがとうございました。



給食時も学生さんと一緒に食べます。本日のメニューは、タコライスでした。



運動場が使えないので、毎日1時間目は体育館で全校体育を行っています。

暦の話題…9月の第3月曜日は「敬老の日」。今年は9月18日(月)にあたります。制定された当初は9月15日でしたが、2003年から9月の第3月曜日となりました。戦後、「老人の日」として一部の地域で制定され、その後全国に広がり、1966年に国民の祝日「敬老の日」となりました。長年、社会に貢献し活躍してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日です。そこで、子どもたちには、その日のみ敬老を考えるのではなく、この日をきっかけにして、敬老精神とお年寄りに学ぶ態度を育てていきたいと考えます。

お年寄りとは、長い人生の経験者です。昔からのことや、冠婚葬祭など数多く経験したことを基に、いろいろな作法や基本を知っています。近所のおじいさん、おばあさんの昔の面白かった話を聞くことも変化があつて楽しいです。初物を食べる時「東の方に向かって笑うと福がくる」などの言い伝えや、昔の近所のこともわかってきます。

物知りのお年寄りは、いろいろな面で年齢を越えてバックアップしてくれます。コツコツと同じ仕事を長年やっているから熟知しています。核家族化で、自分の祖父母と関わるのが少なくなっている今だからこそ、地域の高齢者の方々を大切にしたいと思います。

ゆっくりと家庭生活中心から、学校生活中心へ…ニコニコ顔の子どもたちが久しぶりに学校に戻つてきて、一週間が経ちました。子どもたちの中には、体調不良を訴える子もいますが、早く学校生活のリズムを取り戻そうと頑張っている子も多く見られます。ご家庭でも、体調管理には十分留意されるようどうぞよろしくお願い致します。

さて、保護者のみなさまは、次の三つのうち、どれに近い考えをお持ちでしょうか。

- 人間は善を行うべき道徳的本性を持って生まれてくる。だから、よい心が悪くならないようによい行いをほめてどんどんするようにし、悪いことはしないようにきちんとしつけるべきだ。〔性善説：孟子〕
- 人間は利己的欲望を持って生まれてくる。だから、悪い行いをやめさせるために、よい行いを示して、悪い心がだんだんとよい心になるように教えなければならない。〔性悪説：荀子〕
- 人間は白い紙のように善悪の区別のない状態で生まれてくる。生活や社会体制などの後天的な理由で悪になったりする。だからよいことと悪いことの区別がつくように教え、よいことは進んでするようにし、悪いことはやらないように教え諭していかなければならない。〔白紙説：ロック〕

これらに共通なことは、「よいことと悪いことをきちんと教えること、よいことをしたらほめ、悪いことをしたらそれは悪いことと教え、しないようにする」ことです。そのためには、大人が事実をしっかりと見つけ、判断し、自信を持って毅然と、「自分のすべきことを怠けること」や「友だちの邪魔をすること」「嫌なことや迷惑になること」は、「やめる」ことをきちんと教え込む必要があると思います。

その子の将来にとって、また子どもの集団や社会にとっても好ましくないことは、学校でも繰り返し指導していきたいと思っています。ご家庭においても、お子さまの生活に即して話し合い、羨ましくなく協力をお願いいたします。